

# 路盤材材料試験結果報告書

依頼者：株式会社 早出川建設

再生クラッシャーラン【ARC-40（RC混合）】

材料名：RC-40 7 : グリズリアンダー材 3

RC-40 : 五泉市 論瀬 地内

材料産地：グリズリアンダー材 : 五泉舗材(株) 五泉合材工場

令和6年3月

本間道路株式会社 試験センター

〒959-1604 新潟県五泉市論瀬8803番地1

TEL : 0250-42-5560

FAX : 0250-47-7071





## 試験概要

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：再生クラッシャーラン【ARC-40（RC混合）】  
RC-40 7：グリズリアンダー材 3

材料産地：RC-40：五泉市 論瀬 地内  
グリズリアンダー材：五泉舗材(株) 五泉合材工場

試験期間：自 令和 6 年 3 月 11 日  
至 令和 6 年 3 月 28 日

試験内容：試験内容は以下のとおりである。

- 1) 骨材のふるい分け試験 ..... JIS A 1102
- 2) ホンセルズ機による粗骨材のすり減り減量試験 ..... JIS A 1121
- 3) 土の液性限界・塑性限界試験 ..... JIS A 1205
- 4) 突固めによる土の締固め試験 ..... JIS A 1210
- 5) 修正CBR試験 ..... 舗装調査・試験法便覧
- 6) 異物混入率試験 ..... コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

試験会社：本間道路株式会社 試験センター

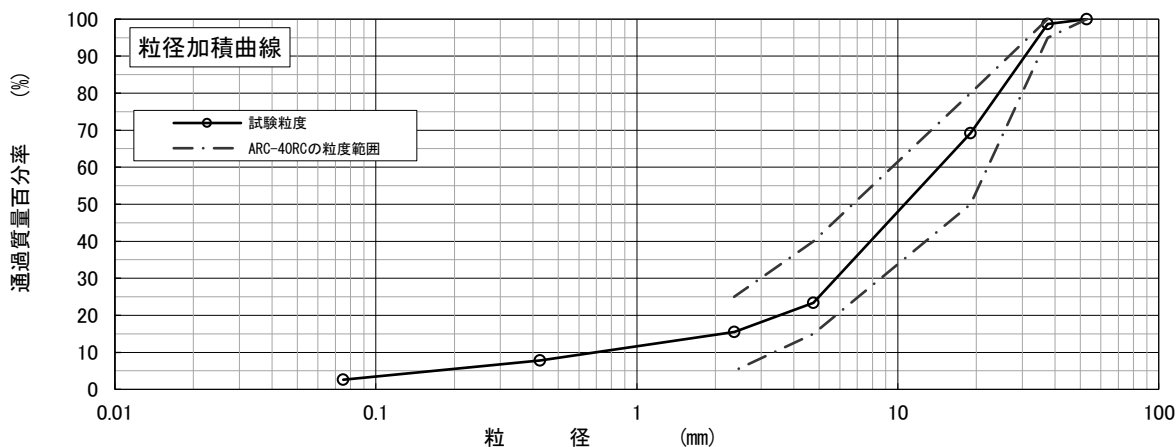
整理担当者：金田 透 

# 路盤材材料試験結果一覧表

材 料 名 : 再生クラッシュラン【ARC-40 (RC混合)】 試験年月日 : 2024年3月28日

用 途 : 下層路盤 整理担当者 : 金田 透

試 験 項 目		試 験 規 格	試 験 値	規 格 値	
一 般	含水比 (搬入時) (%)	JIS A 1203	—		
	密度・吸水率	表 乾 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	JIS A 1109 JIS A 1110	—	
		か さ 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )		—	
		見 掛 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )		—	
		吸 水 率		—	
	コンシステンシー	液 性 限 界 (%)	JIS A 1205	N.P	
		塑 性 限 界 (%)		N.P	
		塑 性 指 数		N.P	6以下
	すり減り減量 (%)	JIS A 1121	31.4	50以下	
	損 失 量 (%)	JIS A 1122	—		
異 物 混 入 率 (%)	※1	0.06	1.5以下		
粒 度 特 性	通過質量百分率 (%)	53 (mm)	100.0	100	
		37.5	98.7	95 ~ 100	
		31.5			
		26.5			
		19	69.2	50 ~ 80	
		13.2			
		4.75	23.4	15 ~ 40	
		2.36	15.5	5 ~ 25	
		0.425	7.8		
		0.075	2.6		
締 固 め 特 性	試 験 方 法	JIS A 1210	E-b法		
	最 大 乾 燥 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )		1.906		
	最 適 含 水 比 (%)		8.2		
	修 正 C B R (%)		舗装調査・試験法便覧	67.1	40以上



備考) ※1 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1102	<b>骨材のふるい分け試験</b>
------------	-------------------

調査名・目的 再生路盤材 材料試験	試験年月日 2024年3月13日
試料番号 再生クランチャー ARC-40(RC混合)	使用場所 本間道路(株)試験センター
試料採取場所	試験者 金田 透

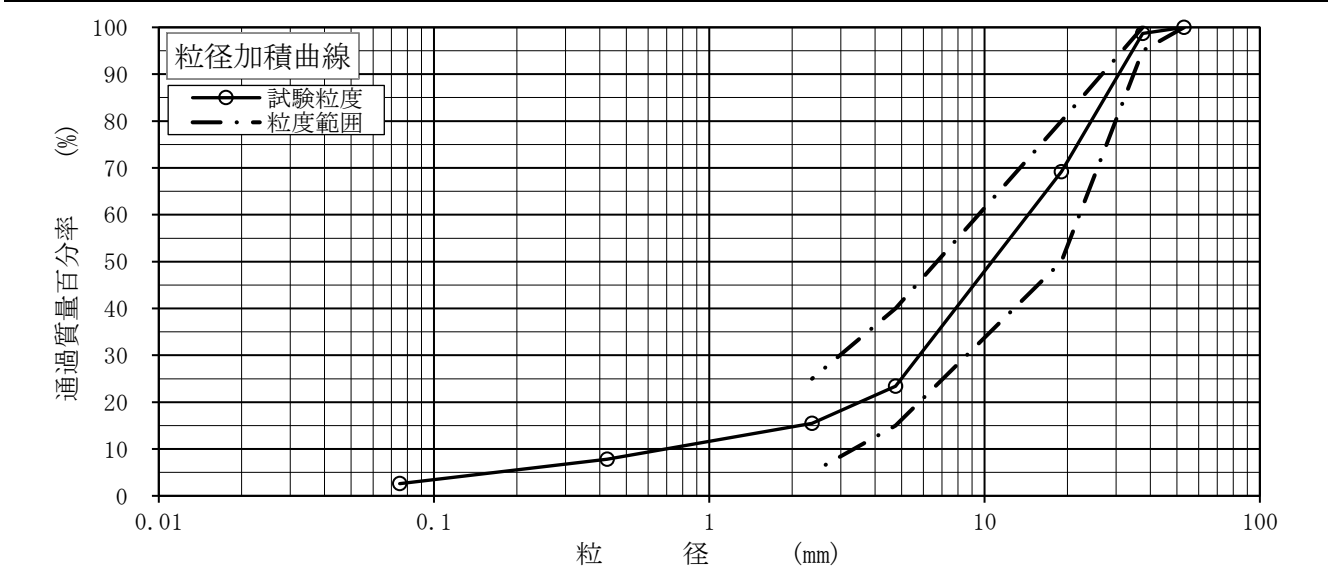
(全試料+容器)質量	15408.6 g	(2.36mm通過試料+容器)質量	663.7 g
容器質量	0.0 g	容器質量	g
全試料質量	15408.6 g	2.36mm通過試料質量	663.7 g
2.36mm残留試料質量	13014.9 g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	15.535 %

**2.36mmふるい残留試料のふるい分け**

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
75					
* 53			0.0	0.0	100.0
* 37.5			194.5	1.3	98.7
31.5					
26.5					
* 19			4738.6	30.8	69.2
13.2					
9.5					
* 4.75			11795.9	76.6	23.4
* 2.36			13014.9	84.5	15.5

**2.36mmふるい通過試料のふるい分け**

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	全試料に対する通過質量百分率 (%)
1.18						
0.6						
0.425			328.8	49.5	50.5	7.8
0.3						
0.15						
0.075			553.2	83.4	16.6	2.6



JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験
------------	------------------------

調査名 : 再生路盤材材料試験	試験年月日 : 2024年3月14日
試料番号 : 再生クラッシャー RC-40	試験場所 : 本間道路(株) 試験センター
試料採取場所 : 五泉市 論瀬 地内	試験者 : 金田 透
骨材の種類 : 砕石	鋼球の数 : 8 個
粒度区分 : 13.2mm~4.75mm	鋼球の質量 : 3319 g
試料質量 : 5000.0 g	回転数 : 500 回

ふるい目の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度						
	累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	1			2			
				累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	
63										
53										
37.5										
31.5										
26.5										
19										
13.2	0.0	0.0	100.0							
9.5										
4.75	5000.0	100.0	0.0							
2.36										
1.7										

すり減り試験結果

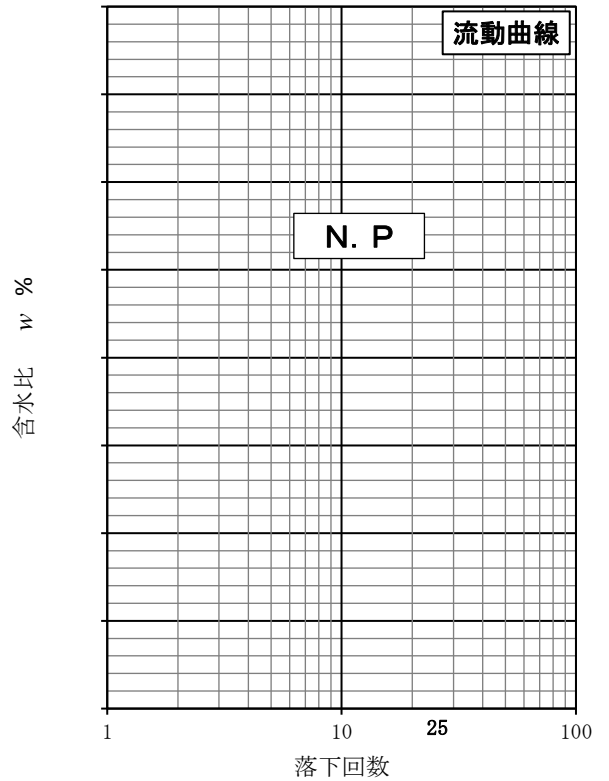
測定番号	1	2
① 試験前の試料質量 (g)	5000.0	5000.0
② 試験後の試料質量 (g)		
③ 1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量 (g)	3446.3	3419.5
④ すり減り損失質量 (g)	①-③	1580.5
⑤ すり減り減量 (%)	④/①	31.6
⑥ 平均値	31.4	

調査件名 再生路盤材材料試験

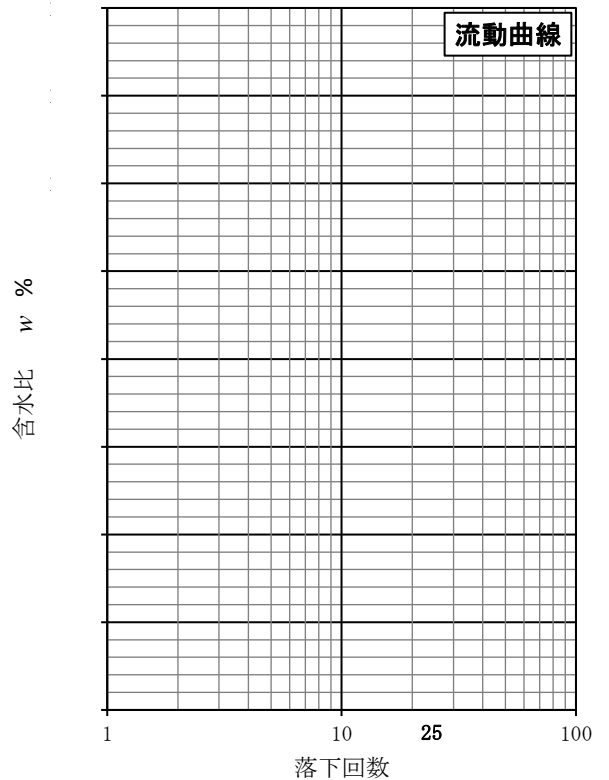
試験年月日 2024年3月13日

試験者 金田 透

試料番号(深さ)		再生クラッシャーラン ARC-40 (RC混合)	
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g	溝切り不可,測定不能	
	mc g		
w %			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
w %			
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	ma g	ひも状にならず測定不能	
	mb g		
	mc g		
w %			
液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$	
N. P	N. P	N. P	



試料番号(深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
w %			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
w %			
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
w %			
液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$	



特記事項

JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）
------------------------	-------------------

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 15日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合) 試験者 金田 透

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ <sup>1)</sup> cm	12.5
含水比	試料分取後 ω <sub>0</sub> %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm <sup>3</sup>	2209
	乾燥処理後 ω <sub>1</sub> %		突固め層数 層	3	質量 m <sub>i</sub> <sup>2)</sup> g	3905	
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド)質量 m <sub>2</sub> <sup>2)</sup> g		8188	8287	8385	8450		
湿潤密度 ρ <sub>t</sub> g/cm <sup>3</sup>		1.939	1.984	2.028	2.057		
平均含水比 ω %		4.9	6.1	7.1	8.0		
乾燥密度 ρ <sub>d</sub> g/cm <sup>3</sup>		1.848	1.870	1.894	1.905		
含水比	容器 No.	210	202	231	212		
	m <sub>a</sub> g	4853.3	4943.4	5041.9	5108.8		
	m <sub>b</sub> g	4653.7	4692.1	4745.1	4772.5		
	m <sub>c</sub> g	574.4	568.9	570.1	576.0		
	ω %	4.9	6.1	7.1	8.0		
含水比	容器 No.						
	m <sub>a</sub> g						
	m <sub>b</sub> g						
	m <sub>c</sub> g						
	ω %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド)質量 m <sub>2</sub> <sup>2)</sup> g		8478	8454				
湿潤密度 ρ <sub>t</sub> g/cm <sup>3</sup>		2.070	2.059				
平均含水比 ω %		9.2	10.0				
乾燥密度 ρ <sub>d</sub> g/cm <sup>3</sup>		1.896	1.872				
含水比	容器 No.	228	234				
	m <sub>a</sub> g	5135.4	4998.7				
	m <sub>b</sub> g	4752.5	4595.0				
	m <sub>c</sub> g	573.3	564.7				
	ω %	9.2	10.0				
含水比	容器 No.						
	m <sub>a</sub> g						
	m <sub>b</sub> g						
	m <sub>c</sub> g						
	ω %						

特記事項

- 1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$



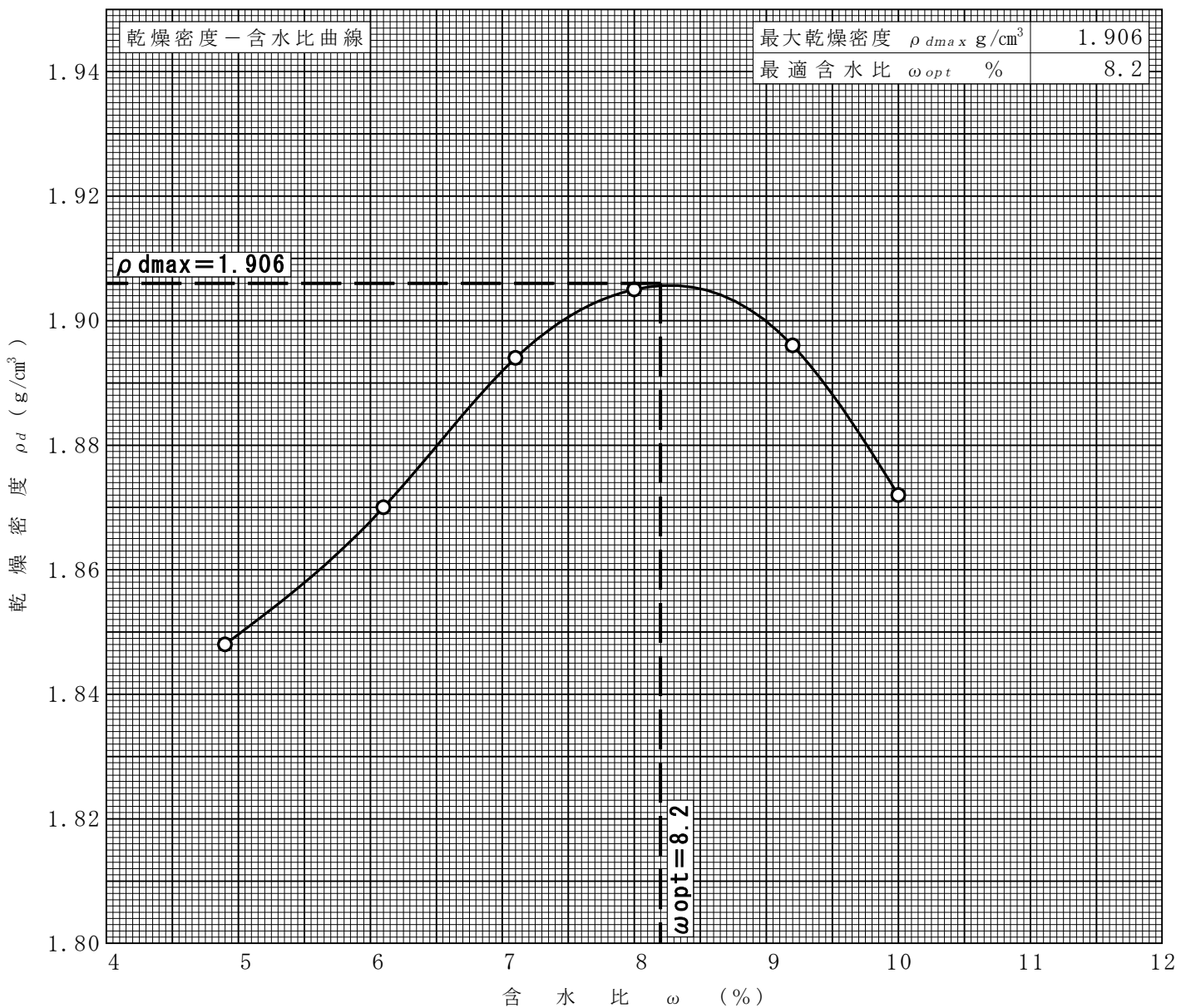
調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 15日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合)

試験者 金田 透

試験方法	E-b		土質名称					
試料の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			
試料の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調整前の最大粒径 mm		37.5	
含水比	試料分取後 $\omega_0$ %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 $\omega_1$ %			突固め層数 層	3		高さ <sup>1)</sup> cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 $\omega$ %	4.9	6.1	7.1	8.0	9.2	10.0		
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.848	1.870	1.894	1.905	1.896	1.872		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho \omega}{\rho_w / \rho_s + \omega / 100}$$

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 $\omega_n$ %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 $\omega_{opt}$ %	8.2	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.906	
	試料調整後含水比 $\omega_0$ %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ <sup>1)</sup> cm	12.5	モールド容量 V cm <sup>3</sup>	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	115	104					
	$m_a$ g	1368.7	1462.1					
	$m_b$ g	1284.2	1371.5					
	$m_c$ g	279.9	276.7					
	$\omega_1$ %	8.4	8.3					
平均値 $\omega_1$ %		8.4		8.4		8.4		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{(2)}$ g	11425		11426		11357		
	モールド質量 $m_l^{(2)}$ g	6838		6849		6788		
	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.077		2.072		2.068		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916		1.911		1.908		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
(試料+モールド)質量 $m_3^{(2)}$ g	11475		11465		11390			
膨張比 $\gamma_e$ %	0.000		0.000		0.000			
湿潤密度 $\rho'_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.099		2.090		2.083			
乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916		1.911		1.908			
平均含水比 $\omega'$ %	9.6		9.4		9.2			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left( \frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 22日

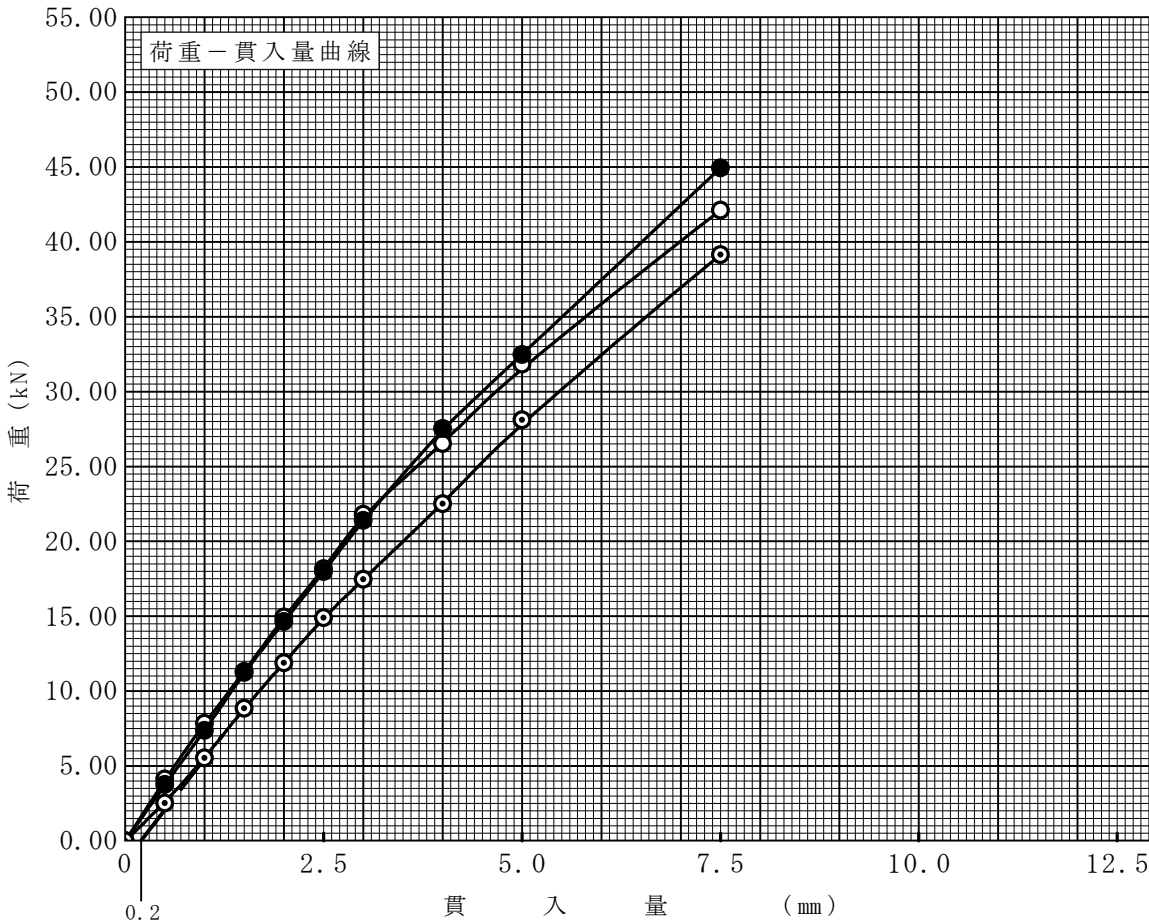
試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(RC混合)

試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 $\omega_n$	%
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $\omega_{opt}$	%
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$	g/cm <sup>3</sup>
	4日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm		

供 試 体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 $\omega_1$ %	8.4	8.4	8.4
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916	1.911	1.908
	後	膨張比 $\gamma_e$ %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 $\omega'$ %	9.6	9.4	9.2
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916	1.911	1.908
貫入試験	試験後の含水比 $\omega_2$ %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		135.9	134.3	118.9
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		158.3	163.2	144.5
	C B R %		158.3	163.2	144.5

平均 C B R %
155.3



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 供試体 No.	18.214	31.502
荷 2 供試体 No.	17.997	32.486
荷 3 供試体 No.	15.926	28.747
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 $\omega_n$ %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 $\omega_{opt}$ %	8.2	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.906	
	試料調整後含水比 $\omega_0$ %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ <sup>1)</sup> cm	12.5	モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	140	111					
	$m_a$ g	1358.7	1471.2					
	$m_b$ g	1276.9	1379.8					
	$m_c$ g	286.5	290.0					
	$\omega_1$ %	8.3	8.4					
平均値 $\omega_1$ %		8.4		8.4		8.4		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11276		11263		11318		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6863		6895		6915		
	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.998		1.977		1.993		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.843		1.824		1.839		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		3	0.03	3	0.03	2	0.02
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g	11350		11356		11407			
膨張比 $\gamma_e$ %	0.024		0.024		0.016			
湿潤密度 $\rho'_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.031		2.019		2.033			
乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.843		1.824		1.839			
平均含水比 $\omega'$ %	10.2		10.7		10.5			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left( \frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 22日

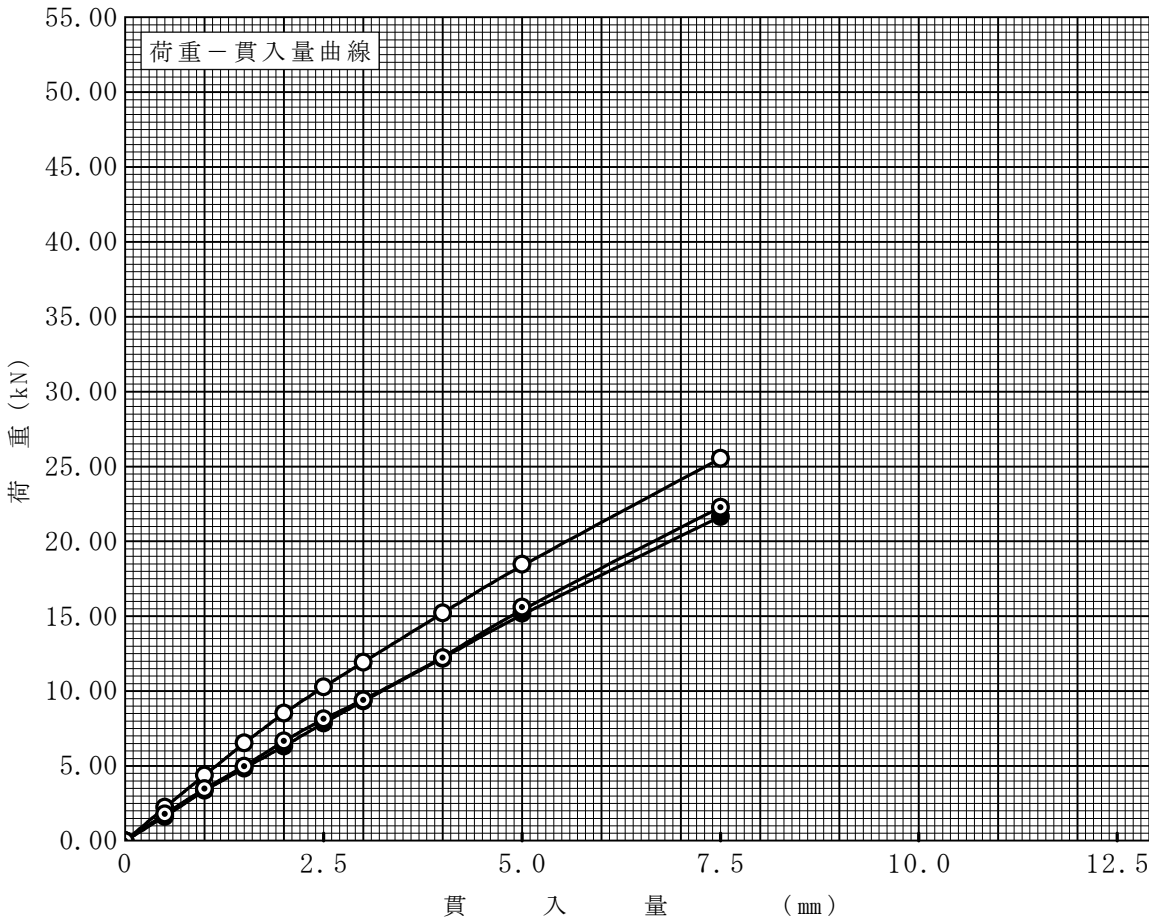
試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合)

試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 $\omega_n$	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $\omega_{opt}$	%	
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$	g/cm <sup>3</sup>
	4日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 $\omega_1$	8.4	8.4	8.4
		乾燥密度 $\rho_d$	1.843	1.824	1.839
	後	膨張比 $\gamma_e$	0.024	0.024	0.016
		平均含水比 $\omega'$	10.2	10.7	10.5
		乾燥密度 $\rho'_d$	1.843	1.824	1.839
貫入試験	試験後の含水比 $\omega_2$				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		76.7	58.6	60.6
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		92.3	75.8	77.4
	C B R %		92.3	75.8	77.4

平均 C B R %
81.8



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	10.275	18.361
供試体 No. 2	7.854	15.081
供試体 No. 3	8.118	15.405
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 $\omega_n$ %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 $\omega_{opt}$ %	8.2	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.906	
	試料調整後含水比 $\omega_0$ %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ <sup>1)</sup> cm	12.5	モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	144	112					
	$m_a$ g	1413.9	1369.9					
	$m_b$ g	1329.7	1287.9					
	$m_c$ g	290.3	296.6					
	$\omega_1$ %	8.1	8.3					
平均値 $\omega_1$ %		8.2		8.2		8.3		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11040		11085		11000		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6840		6847		6794		
	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.901		1.919		1.904		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.757		1.774		1.758		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		6	0.06	8	0.08	5	0.05
試験	(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g	11183		11240		11149		
	膨張比 $\gamma_e$ %	0.048		0.064		0.040		
	湿潤密度 $\rho'_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.965		1.987		1.971		
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.756		1.773		1.757		
	平均含水比 $\omega'$ %	11.9		12.1		12.2		

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left( \frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

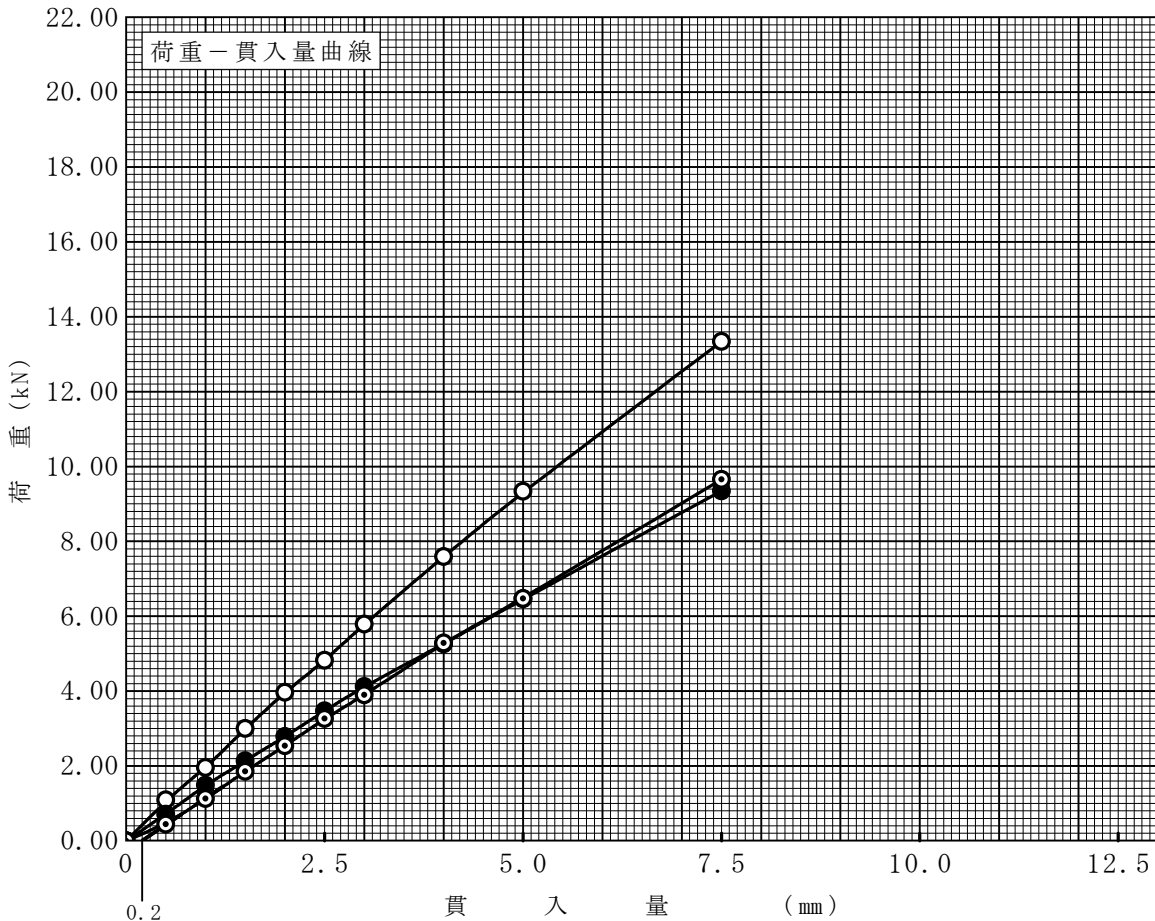
調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 22日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合) 試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 $\omega_n$	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $\omega_{opt}$	%	
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$	g/cm <sup>3</sup>
	4日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 $\omega_1$	8.2	8.2	8.3
		乾燥密度 $\rho_d$	1.757	1.774	1.758
	後	膨張比 $\gamma_e$	0.048	0.064	0.040
		平均含水比 $\omega'$	11.9	12.1	12.2
		乾燥密度 $\rho'_d$	1.756	1.773	1.757
貫入試験	試験後の含水比 $\omega_2$				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		36.1	25.9	26.2
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		46.7	32.4	33.9
	C B R %		46.7	32.4	33.9

平均 C B R %
37.7



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
1 供試体 No.	4.833	9.300
2 供試体 No.	3.469	6.450
3 供試体 No.	3.515	6.747
標準荷重 kN	13.4	19.9

# 修正 C B R 試 験

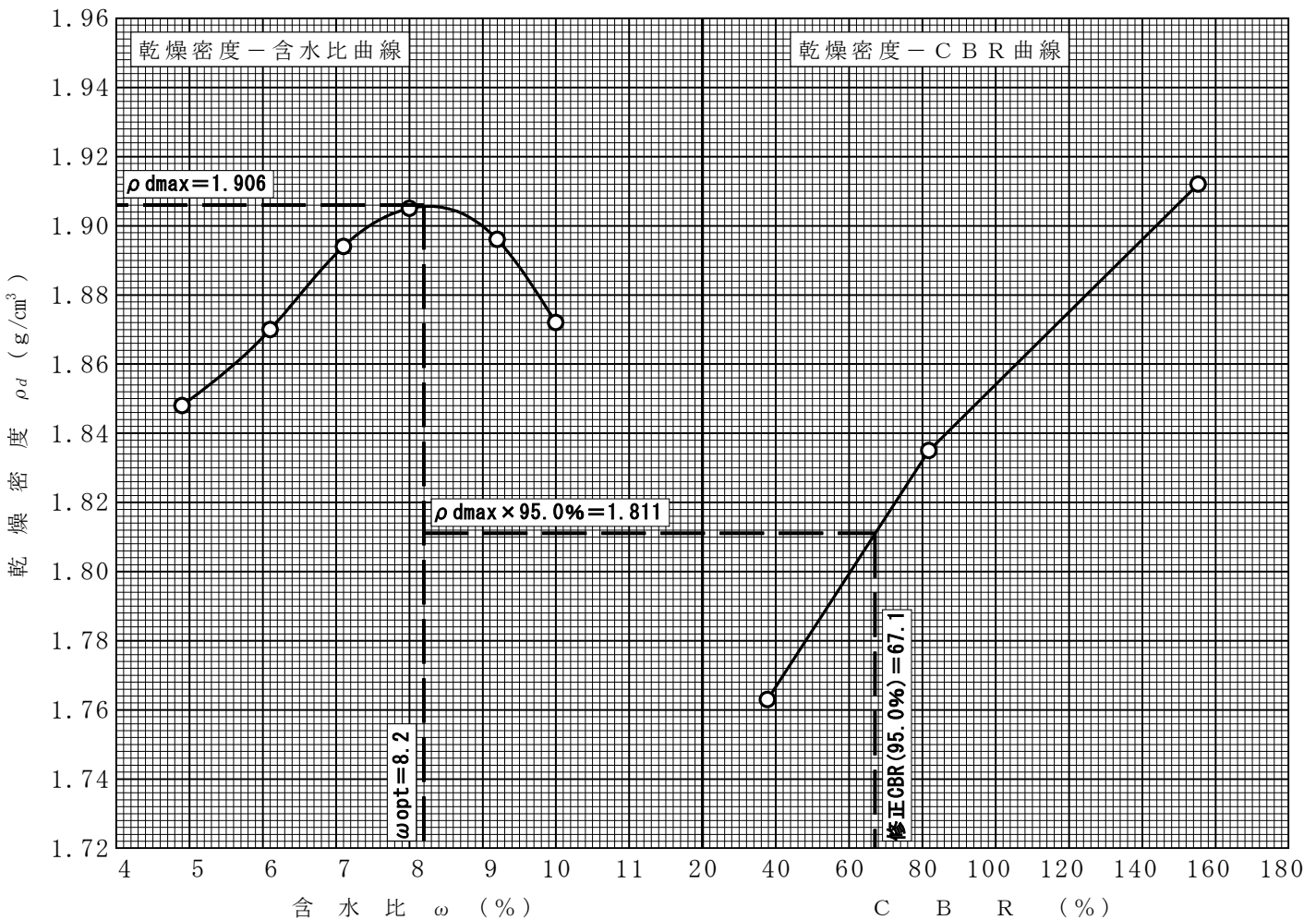
調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 25日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合)

試 験 者 金 田 透

供 試 体 No.	92-1, 2, 3			42-1, 2, 3			17-1, 2, 3		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3層)			42 (3層)			17 (3層)		
乾 燥 密 度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916	1.911	1.908	1.843	1.824	1.839	1.757	1.774	1.758
平 均 値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.912			1.835			1.763		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	135.9	134.3	118.9	76.7	58.6	60.6	36.1	25.9	26.2
平 均 値 %	129.7			65.3			29.4		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	158.3	163.2	144.5	92.3	75.8	77.4	46.7	32.4	33.9
平 均 値 %	155.3			81.8			37.7		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.906	締 固 め 度 %	95.0				
		最適含水比 $\omega_{opt}$ %	8.2	修正 C B R %	67.1				



特記事項



## 異物混入率試験報告書

材 料 名 : 再生クランチャー ARC-40(RC混合)                      試験年月日 : 2024年3月19日  
 製造者名 : 株式会社 早出川建設                                      試験場所 : 本間道路(株)試験センター  
 採取場所 : 五泉市 論瀬 地内    試験者名 : 金田 透

骨材の最大寸法                      40                      mm

構成比率:                      Co系再生骨材:As系再生骨材:C-40=                      70 : 30 : 0

測定番号		1	2
① 試料質量 (g)		15192	15308
② 軟質系異物質量 (g)		4.6	3.2
③ 軟質系異物混入率 (%)	②/①×100	0.03	0.02
④ 硬質系異物質量 (g)		2.7	3.7
⑤ 硬質系異物混入率 (%)	②/①×100	0.02	0.02
⑥ 有機系異物質量 (g)		2.6	1.5
⑦ 有機系異物混入率 (%)	②/①×100	0.02	0.01
⑧ 異物混入率総和 (%)	③+⑤+⑦	0.07	0.05
平 均		0.06	

**備考**

- ① 軟質系混合物                      :    プラスチック片、ガラス片、石膏片、ビニール片等
- ② 硬質系混合物                      :    煉瓦片、タイル片、金属片等
- ③ 有機質系混合物                    :    木材片、紙片、草根等

※ 異物混入率の上限値の目安

種類	総量規格値(質量比)
プラスチック片、ガラス屑	1.5%以下
煉瓦・タイル片・金属片	
木材等有機物、紙	

Co系・As系再生材利用の手引き(案)より